

事業計画書

事業名	コミュニティーナースがつなぐ我入道地域活性化事業
実施場所	我入道稲荷町内にある空き家
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2024年9月9日 ～ 2025年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

昨年度、沼津市我入道にある長期空き家物件を有効活用し世代を超えて交流できる地域に根ざしたコミュニティースペースを作りました。まちにコミュニティーナースを配置することで地域の人たちの力を引き出し、まちの可能性を広げ、地域の行事参加などへのきっかけを作ることで社会的孤立を防ぎ肉体的、精神的、社会的な疾病予防を目指し活動しています。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

我入道地域は少子高齢化が進んでおり、独居高齢者や空き家がますます増加しています。また、コロナ問題による影響で他者と関わる機会が減ったことや行事の中止等により地域としてのコミュニティが希薄になり社会的孤立となっている現状があります。

昨年度から我入道エリアの中心に拠点を構えコミュニティーナースとして活動し、地域の人との身近な存在として「毎日の嬉しいや楽しい」を一緒に作り「心と身体の健康と安心」を実現していくことを目的として活動していますが、今年度は昨年度予定していた我入道エリアのMAP制作に取り組みます。地域住民の方々と共に情報収集し制作することで、住民自ら我入道で暮らす良さや新しい楽しみを見つけられ世代間交流や活気ある地域づくりにつながることを期待します。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。

毎月行うこと	<p>☆昨年度から継続しておこなっている活動☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日コミュニティーナース主催のお茶会 ・状況に合わせてスキンケアや散歩などを共にする ・老人会の集まりや地域の行事があるときは遊びに行かせていただく <p>☆今度から新規でおこないはじめた活動☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曜日以外はレンタルスペースとして貸し出す ・毎月多世代交流型のごはん会として「おなかまめし」の開催
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・9月7日土曜日に沼津市社会福祉協議会、静岡県コミュニティーナースの会と連携して、昨年度におこなったコミュニティーナースとは？の講演会を開催予定(広報及び関係人口を増やす目的) ・MAP デザイン、構成打ち合わせ ・地域練り歩き MAP 製作にあたり地域の情報収集 ・活動場所としてのロゴ製作および看板作り ・まちのえき我入道に出店し広報と交流をする
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域練り歩き MAP 製作にあたり地域の情報収集 ・MAP デザイン、構成打ち合わせ
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域練り歩き MAP 製作にあたり地域の情報収集 ・まちのえき我入道に出店し広報と交流をする ・MAP デザイン、構成打ち合わせ
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・12月14日沼津社会福祉協議会、株式会社 CNC と連携し第一回コミュニティーナース養成講座を開催する(関係人口を増やす目的) ・地域練り歩き MAP 製作にあたり地域の情報収集 ・MAP デザイン、構成打ち合わせ
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域練り歩き MAP 製作にあたり地域の情報収集 ・まちのえき我入道に出店し広報と交流をする ・MAP デザイン、構成最終打ち合わせ
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・MAP 完成最終チェック
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのえき我入道に出店し我入道 MAP を配布する(そのほか SNS でも MAP を掲載する)

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

医療や介護が必要になる手前にアプローチすることで病気などの早期発見、疾病予防に効果があり。必然的に会話できる相手ができることで認知症の予防や孤立防止に繋がります。そのほかに、障がいを抱えた方や精神疾病を抱えている方たちにとっても繋がりが増えることが社会参画の促進となり、地域の共生社会へとつながります。また、世代を越えた顔と顔の繋がりが増えることは、安心安全なまちづくりとなります。

エリア MAP 制作にあたっては、住民自ら主観的な情報を提供しあうことが世代を超えた新たなコミュニケーション作りの場になると共に、まちの新しい魅力を発見しワクワクすることが各個人の精神的、社会的健康へとつながります。まちの魅力を再発見することで、まちの行事に参加するきっかけになったりと、まち全体の活性化も期待されます。

また、出来上がった MAP が拡散されれば我入道を巡る若者も増え、新たなコミュニケーションがまちで生まれ、魅力的なまちとして見られれば人口も増え、空き家も減り、まちの活気や発展につながっていきます。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <p>利用者が増える 関係人口が増える</p>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>訪問された際に名簿記入していただき、登録者数の増減などを毎月グラフ化する</p>
-------------	--	----------------	---

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>社会的必要性</p>	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>・ 少子高齢化や長期コロナ問題に伴い世代を超えたコミュニケーションが不足していると考えられます。昨年度から我入道の中心に位置する古民家を解放することによって様々な世代の方が行き交うコミュニティスペースなってきました。今年度は参加された地域の方々が繋がりが自発的に手芸部や体操部、散歩部や竹細工部などのグループ活動ができれば質の高い事業展開になると考えます。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>若年層が少なく一人暮らしの多い高齢化が進む我入道エリアは空き家も増えており、地域が衰弱化しているという課題があります。だからこそ地域の活性化となるよう横の繋がりが必要になると考えます。碁盤の目のように作られたエリアの中心でこの活動ができることは場所的にも有意義な効果が得られると考えられます。</p> <p>また、コミュニティスペースでの出会いをきっかけとして地域の中での新たな事業や有効的な空き家活用が生まれる発展性があると考えられます。</p> <p>※我入道地区高齢化率（65歳以上）</p> <p>平成25年 29.5% 令和元年 36.2% 令和4年 37.8%</p>

<p>独創性</p>	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 静岡県ではまだ周知されていない「コミュニティーナース」という役割を沼津市から発信していくという独自性。地域の中でつながりを生むコミュニティスペースに医学的知識を持った看護師が駐在することで、社会的なつながりだけでなく心身ともに健康に特化した活動となります。また、地域住民の主観的情報提供で製作されるエリアマップは独創的でその過程においても新しいコミュニケーションが生まれる場が想像できます。</p>
<p>実現性</p>	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 沼津市社会福祉協議会や我入道連合自治会長など、町のキーパーソンとなる方々との連携がすでに構築されており、事業に向けた実現は引き続き可能かと思えます。木曜日の開放日以外はレンタルスペースとしてすでに運用も開始しており、ゆっくりではありますが、経営も可能となってきました。 ただし、より継続的に運営して行くには、事業計画を引き続き検討していくことが必要かと考えています。この点については全国で活動されているコミュニティドクターやコミュニティーナース、登録させていただいているコミュニティーナースカンパニーの運営方法などを参考にさせていただきながら、持続可能な事業展開をしていきたいと思えます。</p>
<p>発展性</p>	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 ・コミュニティーナースは、コロナ問題等の影響により希薄になった地域の中で、人と人との繋がりをサポートし、世代を超えた新たなコミュニティを形成していきます。その後は繋がりによる自発的な活動も増え、様々な世代が支え合いを取り戻し、地域が活性化していくと考えられます。また、我入道地域のコミュニティーナースの存在が他地域で眠っている潜在ナースにも波及し、それぞれのエリアでコミュニティーナースを軸にした支え合うコミュニティが生まれると考えられます。 ・活動資金の確保としては見守り隊としてのサブスクリプションの構築を再検討、チラシやSNS等を用いての周知に努めていきます。 また、来年度から広告費を得ながら我入道エリアの月一新聞を作りたいと考えています。今年度からの周知や実現できるように体制を整えていきます。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

立ち上げは看護師と保健師の二人で週に一度の活動で開始しますが、そもそもコミュニティーナースという役割に医療資格者である必要性はありません。今年度からはさらに他職種の方々（職種というか年金生活されている方や、我入道エリアに住み自由に活動できるポテンシャルのある方など）と共同で運営するようなことも可能になってきました。これは活動日数を増やすことができ、地域のつながりも広がり活性化が増すと今後の活動がさらに向上すると考えられます。次年度にあたっては、サブスクリプションシステムを活用して、離れて暮らす家族に代わって見守りサービスをおこなうことや、月一新聞を製作し広告費で定期的な収入が得られるようなシステムを構築していきます。また、長期的な最終目標はコミュニティーナースがなくなることです。コミュニティーナースという役割がなくても住民同士が繋がり解決していくような地域づくりができあがれば、事業として活動する必要性は無くなると考えられます。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

当初から「コミュニティナースやります！！」と勢いよく言ったせいか、「ナース」という言葉に引っかかり、対象が「病人」と思われている人も多いため、地道な広報活動が再度必要かと考えています。顔と顔のつながりをさらに増やし、関係人口も増やすために、今年も講演会や養成講座の開催も予定しています。

また、今年度から、もっと子供達にも周知したいと考え、子供達にも寄り添える場作りとして、こども食堂（子供に食事を提供するのではなく、子供が自ら料理できるようにする会『おなかまめし』）を開催していますが、好評で毎回満員となっています。この活動は近隣の高齢者の方々にも容易に参加していただけるよう引き続き広報を進めていきたいと考えています。